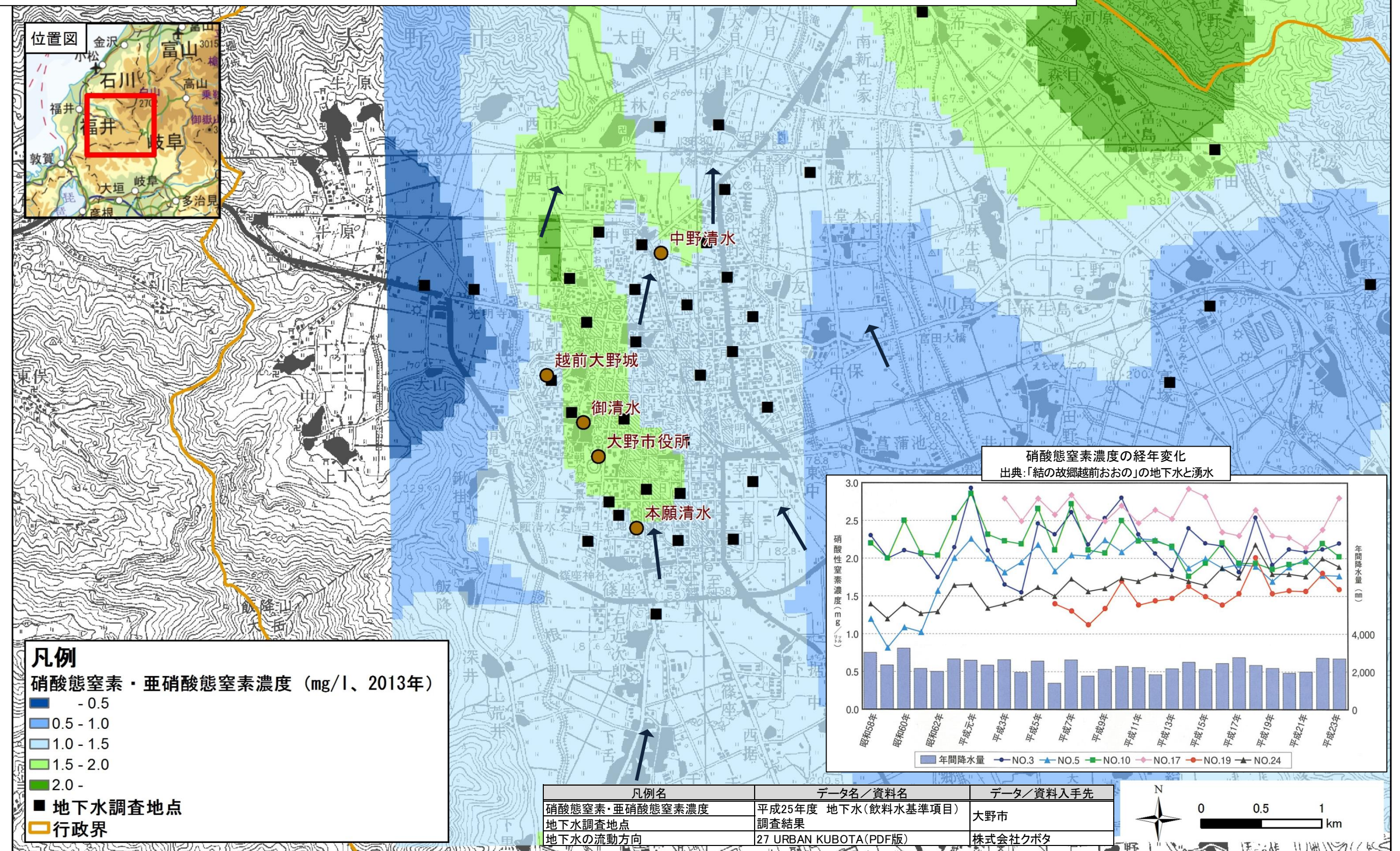


図5 地下水質マップ

大野市が観測井ごとに実施している地下水質調査のうち、平成25年6月の硝酸態窒素および亜硝酸態窒素濃度を内挿補間し、10mメッシュデータで表示した。参考として地下水の流動方向も合わせて図示した。

市街地の中心部と九頭竜川沿いでは他のエリアに比べ、硝酸態および亜硝酸態窒素濃度が2.0kg/1以上と高い地域が一部みられる。しかしながら、「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（環境省）で定められている基準値は『10mg/1』とされており、現時点では問題となっていない。一方で硝酸態窒素濃度の経年変化をみると、微増傾向がみられる地域があり（右下図のオレンジ線や黒線）、今後の動向を注視する必要がある。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（地図画像）及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平27情複、第758号）」

注意！！ 本資料の作成にあたっては、専門家の助言をうけておりますが、利活用にあたっては、専門家の監修を受けるようにして下さい。